

転戦する同シリーズは、「NTT INDYCAR SERIES」の名称を冠され、NTTのブランド認知向上に大きく寄与している。また、NTTとNTTデータは各車に搭載した140以上のセンサーから得られる80億超のデータをAIで分析して、レース予測をリアルタイムに提供するソリューションを展開し、新たな観戦方法を実現した(図表3-6-5)。

中でも、毎年5月にインディアナポリス・モーター・スピードウェイで開催される「インディ500」は世界三大レースの一つに数えられ、レース当日は一日約35万人が会場に訪れる。NTTとNTTデータは、そのような環境においてもファンが安全に観戦できるよう、ゲートの混雑状況をリアルタイムに把握できる仕組みも提供している。また2024年の大会においては、プロドライバーの手足の動きを追体験できる身体知共有技術を用いたカーシミュレーターを一部エリアで公開した。

### (3) ツール・ド・フランスにおけるデジタルツインの構築

2023年、NTTグループはオフィシャルパートナーとなっているツール・ド・フランスにおいて、IoT、エッジコンピューティングを活用して、レース中のデータを収集し、レースの状況を仮想空間上で再現するデジタルツインを構築することを発表した。具体的には、各競技自転車のサドルに取り付けられたセンサーにより、緯度・経度・速度といった情報を受信し、この情報に基づきデジタル空間上で実際のレースの状況を再現する仕組みだ。山岳地帯等、観客席のないコースでもレースを楽しめるようになるなど、観戦者の体験価値の向上を図った。

### (4) NZCIS との技術パートナーシップ

2024年5月、NTT DATA, Inc. はニュージーランドの大型スポーツ施設運営会社NZCISと戦略的技術パートナーシップを締結し、トラッキング技術や生体データ解析技術を活用したアスリートのパフォーマンス向上やファン向け新体験の創出に向けた活動を開始した(図表3-6-6)。NZCISは世界最大級のトレーニング室や3Dカメラトラッキング設備を備えており、NTTグループのICT技術と組み合わせることで、新たなビジネスモデルの創出も視野に入れている。

図表3-6-6 ▶NZCISとの戦略的技術パートナーシップ

今回の提携により両社は以下の4つの分野で協業し、ニュージーランドおよび世界のスポーツ業界の成長と地域発展に貢献することを目指す。

(1) 仮想技術や生成AIなどを活用したソリューションの共同開発と実証  
デジタルヒューマンやメタバース空間などの仮想技術および生成AIを活用した施設や運営におけるデジタルトランスフォーメーションの推進、施設内外の利用者の新たな経験の創出、これらから得られるデータに対して、属性ベース暗号技術を活用してセキュアに分析するプラットフォームの構築を行う。

(2) Web3.0 技術を活用した新たなコミュニティクリエーション  
ブロックチェーンやNFTなどのWeb3.0技術を活用し、スポーツチームやファンをはじめスポーツ団体・協会やメディアといった関連するすべてのステークホルダーを巻き込んだ新たなコミュニティの形成と、それらコミュニティから得られるデータの分析を通じたビジネス創出とスポーツ産業の活性化を行う。

(3) NTTグループの研究成果を活用したトレーニング効率の向上とアスリート能力の最大化

NTTグループの遺伝子工学、脳科学、生成AIなど最先端の研究開発力を活用し、未来のスポーツ関連産業の進化を目指す。

(4) マーケティングコラボレーション

両社のアセットやノウハウを掛け合わせ、特定領域にしばられない両社共同でのマーケティング活動を行う。

出所：NTTデータ「ニュージーランド最大のスポーツ施設運営会社NZCISとNTT DATA Inc.が戦略的パートナーシップを締結」(2024年5月13日)をもとに作成

図表3-6-5 ▶インディ500におけるスマートソリューションの提供

## Indianapolis 500スマートソリューションの提供







**NTTデータはモバイルアプリケーションの開発をはじめとするスマートソリューションを提供**



**INDYCAR Mobile**  
(ファン向け観戦アプリ)



**Smart Venue**



**INDYCAR Data Experience**  
(AIによるレース予想)

出所：NTTデータ『統合レポート 2022』をもとに作成